

科目名	メディアコンテンツ応用		英文表記	Application of Media Contents		2017/3/6	
科目コード	5306					作成	
教員名:	小西 潤子						
技術職員名:	なし						
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
メディア情報工学科	5年	選	学修	2単位	講義	前期	
科目目標【MCC目標】	(1)メディアとコンテンツの新たな枠組みと価値について、理解する。 (2)メディアコンテンツ応用の可能性について、視野を広げる。 (3)メディアコンテンツの考え方から、地域社会をとらえなおす。 (4)これまでに習得した作品制作に関する知識および技術を応用して、作品を企画できるようになる。						
総合評価	(1)授業内課題(40%) (2)作品(40%) (3)品評会結果(10%) (4)自学自習レポート(10%) により評価し、60%以上の達成を合格とする。						
科目達成度目標	目標割合	科目達成度目標	達成度目標の評価方法	ルーブリック			
				理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)	セルフチェック
	15%	① メディアとコンテンツの新たな枠組みと価値について、理解する。	授業内課題とレポートの内容によって評価する。	メディアコンテンツの価値と、これからの社会に求められるメディアコンテンツへの展望を持つ。	メディアコンテンツの価値と、現在メディアコンテンツに求められる機能について理解する。	メディアコンテンツの価値とその機能についての知識を習得する。	
	15%	② メディアコンテンツ応用の可能性について、視野を広げる。	授業内課題とレポートの内容によって評価する。	メディアコンテンツ応用の可能性について、自らの展望を持つ。	メディアコンテンツ応用の可能性について、理解する。	メディアコンテンツ応用の可能性について、知識を得る。	
	20%	③ メディアコンテンツの考え方から、地域社会をとらえなおす。	授業内課題と作品によって評価する。	メディアコンテンツ応用によって、再発見した地域社会の諸相を試作品に反映する。	メディアコンテンツ応用によって、地域社会の諸相を試作品に反映する。	メディアコンテンツ応用によって、地域社会をモチーフとした試作品を作る。	
50%	④ これまでに習得した作品制作に関する知識および技術を応用して、作品を企画できるようになる。	授業内課題と作品、品評会結果によって評価する。	試作品をさらに発展させた作品を作り、制作の意図や技術について他者からの理解を得る。	試作品をさらに発展させた作品を作り、制作の意図や技術についての説明ができる。	試作品をさらに発展させた作品を作る。		
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	<本科教育目標> (3)専門的基礎知識を理解し、自ら学ぶことのできる人材を育成する		
	○	○	◎	○			
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
評価項目	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実習・成果物)	総合評価	セルフチェック
基礎的理解	①②③④	0	40	10	50	100	
応用力(実践・専門・融合)	①②③④		40		10	50	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	③④				20	20	
主体的・継続的学修意欲	④			10	10	20	
授業概要、方針、履修上の注意	【授業概要】メディアコンテンツが、特定の媒体に特化したデータではなく、社会の中で重要な機能をもつこと、またそれが社会に寄り添って変化するものであることを学び、メディアコンテンツの創造・発信を担う技術者の役割と使命について理解します。 【授業方針】前半はメディアコンテンツを社会的・歴史的な脈絡の中でとらえ、その応用の可能性について講義形式で学習します。後半は、受講生が作品の企画とプレゼンテーションを行います。 【履修上の注意】主体的に取り組むことを心掛けてください。						
教科書・教材	事前に購入しなければならない教科書はありません。						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1	ガイダンス	2	授業概要について説明する。		
2	メディアの歴史と特性	2	メディアの歴史的経緯について学ぶ。		
3	コンテンツの概念と実態	2	コンテンツの概念とその実態の成立過程を学ぶ。		
4	メディアコンテンツの現在	2	メディアコンテンツをめぐる議論について学ぶ。		
5	メディアコンテンツと表現	2	表現の観点からメディアコンテンツについて考える。		
6	メディアコンテンツと環境	2	環境の観点からメディアコンテンツについて考える。		
7	メディアコンテンツと社会	2	社会の観点からメディアコンテンツについて考える。		
8	ゼミ形式討論(1)	2	受講生がテーマを選択して話題提供し、全体で討論。		
9	ゼミ形式討論(2)	2	受講生がテーマを選択して話題提供し、全体で討論。		
10	ゼミ形式討論(3)	2	受講生がテーマを選択して話題提供し、全体で討論。		
11	ゼミ形式討論(4)	2	受講生がテーマを選択して話題提供し、全体で討論。		
12	ゼミ形式討論(5)	2	受講生がテーマを選択して話題提供し、全体で討論。		
13	ゼミ形式討論(6)	2	受講生がテーマを選択して話題提供し、全体で討論。		
14	ゼミ形式討論(7)	2	受講生がテーマを選択して話題提供し、全体で討論。		
15	ゼミ形式討論(8)	2	受講生がテーマを選択して話題提供し、全体で討論。		
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間	
① 授業で学んだことを復習するとともに、自分の考えをまとめてレポートを提出する。				各2時間×2回	
② 企画・発表準備				各5時間×4回	
<b>備考欄</b>					
(各科目個別記述) ・ この科目の主たる関連科目はメディアコンテンツ基礎(1年)、メディア情報工学実験I(2年)である。					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)